第60回全日本総合ハンドボール選手権大会
＜戦評記録用紙＞

＊会場　いしかわ総合スポーツセンター　(Aコート)・Bコート

＊スコアー

トヨタ車体	36	19 / 17	25	日本体育大学
		15 / 10		

＊見出し　リーグ勢の地力を見せつけたトヨタ車体が昨年の雪辱果たす。

昨年度の雪辱を期すトヨタ車体がスタートから闘志溢れるプレーを見せれば日体大も棚原のミドルを中心に対抗し、白熱した試合展開。要所で崎前のサイドシュートで加点するトヨタ車体に対し、棚原・東長濱両大砲のミドルと速攻で全く互角の試合展開。25分過ぎから蒼川が7MTなどで抜け出したトヨタ車体が4点リードで前半終了。後半に入っても一進一退の展開は変わらず、両GKのファインセーブもあり引き締まった試合が続く。速攻で10分には2点差まで追い上げた日体大であるが、トヨタ車体に退場者が出たにもかかわらず、得点を許すなどなかなかペースが掴めない。18分過ぎにはトヨタ車体のリードは6点まで開く。日体大の攻撃を早めに摘み出したトヨタ車体のディフェンスが機能し出すとじりじり点差が開き出し、23分には33対23の10点差に。その後はトヨタ車体が安定した試合運びでリードをキープしたまま試合終了。
昨年度の雪辱を果たした。